

“つかまりキング”は本当につかまるのか?!

アッタス13代目の名は“キング”。その由来はトランプでいうキングの13であること、そしてキング級につかまるということだ。今野一哉プロにそのつかまわりを検証してもらった結果……。

撮影=小林司 取材協力=川口グリーンゴルフ

# 楽勝!

フェイスでボールをつかめる  
斬新感覚!

※こんなタイトル、かつてあっただろうか……

インプレッション  
今野一哉プロ

こんのかずや、蝶ネクタイがトレードマークのプロゴルファー。子供が楽しめるながらゴルフが学べるキッズゴルフクラブを主宰。

つかまる!つかむ感覚が、ボールを強く押し込める

「つかまわりは間違いなくいい。ただ、つかまわりがいいことを強調するシャフトは左にひっかけ気味の上品な弾道になることが経験上多い。そんなイメージで望んで、惚れ惚れするドライバーボールが打てた。ギャップに驚き。簡単に楽勝。まるでフェイス面でボールをつかみとって、ボールを押し込んでいける素晴らしいインパクトゾーンを感じました。」

野一哉プロ。これまでに感じたことのない、楽勝さにコメントに困っている。「つかまわりは間違いなくいい。ただ、つかまわりがいいことを強調するシャフトは左にひっかけ気味の上品な弾道になることが経験上多い。そんなイメージで望んで、惚れ惚れするドライバーボールが打てた。ギャップに驚き。簡単に楽勝。まるでフェイス面でボールをつかみとって、ボールを押し込んでいける素晴らしいインパクトゾーンを感じました。」

飛距離をロスしているスライサー系ゴルファーは顕著に飛距離アップが期待できます。さらにフェイス面で弾くというより、強くボールを押し込んでいきたい感覚を大切にすれば、プレーヤーにも好相性。最新型つかまわり系シャフトはある意味凄く、品が良すぎです。」

その後もドライバーボールを容易にコントロールする様を披露し、楽勝さをアピールする今野プロ。異端のアッタス13代目は、まさにつかまわりキング、楽勝キングだ。

アッタスキングはつかまりキングだ! 楽勝キングだ!

シャフトの問い合わせ/株式会社シャフトラボ  
USTMamiya事業部 TEL03-6272-9801

## 繰り返し

手元から中間部にかけて  
四軸<sup>®</sup>織物で  
高い復元力を追求

先調子系は手元側の剛性が高いのが特徴ですが、繰り返しでしっかり手元部は変形する感じもあって不思議とタイミングがとりやすい。ドライバー用シャフトに四軸<sup>®</sup>織物を採用したのは「初代アッタス」以来。いい加速感と振りやすさの原動力になるよう、さすがの起用方法だと感じます(今野プロ)

## インパクトエリア

スピード感とひと押しが  
両立したつかまりの良さ

シャフト先端部には高弾性・高強度素材の「トレカ<sup>®</sup>M40X」が採用され、走り系ならではのスピード感と、大型ヘッドのパワーに負けないもうひと押しを両立している。ATTAS Coolで培った当たり負けやシャフトブレを抑えるHTTテクノロジーがフルに発揮されています(今野プロ)

## かつてないキング級のつかまわり



KINGのGをアイコンにしたユニークな口ゴデザイン。今後、このアイコンを使ったアッタスらしいPRがおこなわれるかも?

## ATTAS KING

●価格/44000円(税込)

SPEC	フレックス	重量	トルク	キックポイント
4	R, SR, S, X	50g (S)	5.4 (S)	先調子
5	R, SR, S, SX, X	58g (S)	4.3 (S)	先調子
6	SR, S, SX, X	66g (S)	3.5 (S)	先調子
7	S, X	73g (S)	3.5 (S)	先調子

### 剛性イメージ

手元部: 4  
中間部: 3  
先端部: 1

